

自大学の FD を発展させるための評価と改善

上月 翔太（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 講師）

講師略歴

専門は高等教育論、西洋古典文学、未来思考。日本学術振興会特別研究員、大阪大学文学研究科助教、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室特任助教等を経て2023年より現職。愛媛大学、SPOD、教職員能力開発拠点における各種 FD（個別授業からカリキュラムまで）を幅広く手掛ける。『大学 FD 入門』『カリキュラムの編成』などの書籍の執筆にも携わる。

プログラム概要

義務化を経て FD は多くの大学教職員にとって日常となりました。日常となったことで、FD のための取り組みが各大学の教育活動の改善に活かされている一方、さらなる発展に向けてどうすればよいか悩んでいる方もいるかもしれません。本プログラムはこれまでの自大学の FD をふりかえりつつ、次の打ち手を考える機会とします。具体的には「自大学の FD の評価」「研修から実践へ」「研修以外の方法」「FD の体系化」「カリキュラム改善の FD」「未来の大学の FD」の 6 つのテーマを扱います。FD 企画の発展編のような内容になりますが、FD 企画が初めての方にも基本をおさえることのできる内容に工夫しています。現行の FD を改善、発展させていくことに主眼が置かれますが、最後には大きく変貌する大学の未来像を予測し、今の FD に欠けている視点を参加者で議論し、FD について大局的に考えることも行います。

準備物・事前課題

教科書として中井俊樹他編（2024）『大学 FD 入門』（ナカニシヤ出版）を指定します。第1章と第2章を読んでいることを前提にプログラムを進めます。また、自大学における FD の取り組みについて、①何を行っているのか、②その成果は何か、③その課題は何かをまとめておいてください。

主な受講対象者

・教員の能力開発に関する企画等に携わっている教職員（経験年数は不問）。また、広く大学教職員の能力開発に関心をもつ人も歓迎します

到達目標

1. 自大学の FD の成果と課題をバランスよく説明できる。
2. 参加者の行動変容を促す FD の設計のポイントを上げることができる。
3. FD を通じた組織開発のポイントを上げることができる。
4. 未来の大学における FD を構想することができる。